

質問 市民が憩う緑についての市の役割と考える。
質問 ①木陰がない公園がある。熱中症対策の観点から木陰づくりを行う考えは。
 ②市の水と緑のネットワークの保全・創出の観点から、昭島駅北口大規模開発エリアの緑を失うことはできない。緑化推進基金の見直しや他の基金の創設により、一部区画を買い取る考えは。
 ③昭島駅北口大規模開発について、緑を残すために、環境基本条例に照らし、最大限努力すべき。
答弁 ①他市の先行事例も参考に、どのような対応ができるのか研究していきたい。②非常に困難性がある。③環境施策を進めるため、意見を聞き、調整していく

質問 飛行ルートや飛行時間等、新たな訓練や戦地への前線展開に対応する訓練等が行われ、近隣住民に激甚な騒音等の被害が及んでいる。危険な訓練やオスプレイの追加配備を行わないよう、米軍及び国に申し入れるべきである。市の見解は。
答弁 基地本来の機能と異なる訓練は、騒音等市民生活への影響が甚大であり容認できるものではなく、周辺5市1町で要請していき

**市民参画で考える
公園の活用について**
 みらいネットワーク 林 まい子 議員

**米軍横田基地
機能強化について**
 日本共産党昭島市議員 奥村 博 議員



楽しいねっ (エコ・パーク)

一般質問 (要旨)

スポーツの推進について
 無党派 八田 一彦 議員

**カーボンニュートラル
シティの実現に向けて**
 自由民主党昭島市議員 金井 悦子 議員

1面下段より
 ポイント還元事業について、①利用時期を12月とした理由は。②令和3年度に同様の事業を実施した際、どの業種が効果的であったのか。
答弁 ①プレミアム付商品券の販売時期と重ならないよう、12月とした。②ポイント還元総額約9千500万円のうち、小売業で約4千500万円、飲食業で約3千500万円、美容業で約950万円。理容・美容業で約950万円。
質問 学校給食運営費を2千800万円増額補正しているが、①理由は。②このことにより、給食の献立にはどのような変化があるのか。
答弁 ①物価高騰に伴い、給食の質を確保するため、地方創生臨時交付金を活用して食材料購入費の上乗せ補助を実施することとした。②使用する食材の品目も増え、献立の幅が広がると考えている。

質問 心身障害者へのガソリン代助成の増額があるが、タクシーを利用しなければならぬ心身障害者のタクシー利用者も助成の対象にしなければ公平でない。増額を図るべき。
答弁 ガソリン代高騰による自己負担の増額に対応するため、助成額の増額を図るものである。
質問 物価高騰等への対応として、水道料金の減免の支援などは、重要な取り組みである。減免等の期間が事業ごとに異なるが、その考え方は。
答弁 限られた財源において、なるべく長期の対応が図られるよう、全体を見てそれぞれの事業の支援期間を決定した。
質問 新型コロナウイルス感染症の自宅療養者に対する支援について、医師会や市内の医療機関とも連携していくことが必要と考える。現状の対応は。
答弁 都が中心となって支援を実施している。市は、都から生活物資等が届くまでの間を補完する食料の配付支援を実施している。

質問 水道料金・下水道使用料の減免について、①考え出した経緯は。②同額を給付型にした場合の経緯は。
答弁 ①大きなシステム開発や膨大な事務作業がなく、効果的に市民の負担軽減とすることから本事業とした。②約9千300万円と想定する。
質問 授乳室は、おむつ交換時など広めの方が安心感があるが、簡易な移動可能タイプを設置する理由は。
答弁 工事不要で簡易に設置ができ、イベントの際には使いやすい場所に設置できるなど、コストやスペースの活用を考慮した。

無党派